

健康・子育て

子育て情報

子育て支援センターの行事とお知らせ

●「パパと遊ぼう」土曜日解放

日時 1月19日(土) 午前9時30分～

場所 子育て支援センター

内容 支援センターを開放します。

お父さんとお子さんで遊びに来てください。ご家族での利用も受け付けています。

対象 0歳児～就学前のお子さん
と父親

●1月のおひさま広場(雪遊び)

日時 1月21日(月)・28日(月)

午前9時30分～

場所 清里保育所園庭

内容 保育所の園庭で雪遊びをします。

ます。上下ウェア、手袋、帽子、長靴などを着用して遊びに来てください。

対象 0歳児～就学前のお子さん
と保護者

※支援センターは通常通り自由開放を行っています。

詳細

保健福祉課子ども・子育てグループ
子育て支援センター

☎25-3192



健康づくり

こころの健康相談(保健センター)のご案内

保健師によるこころの健康相談を実施します。心の中の整理できないことを、話すことで軽くしてみませんか。

ご本人以外の相談も受け付けています。

日時 1月28日(月)午前9時～11時30分

場所 保健センター

担当 保健師

申込先 保健福祉課保健グループ

☎25-3850

※事前に申し込みが必要です。

思春期・こころの健康相談(網走保健所)のご案内

網走保健所では、思春期に関する相談やこころの健康に関わる相談を受け付けています。

日時 2月1日(金)午後1時～5時

場所 網走保健所

担当医 北海道立向陽ヶ丘病院医師

申込先 網走保健所健康推進課

☎0152-41-0697

※事前に申し込みが必要です。



風しん感染症拡大の恐れ

風しんとは、発熱・発疹・リンパ節の腫れを特徴とする感染症です。感染者が咳・くしゃみ・会話の際に吐き出したウイルスを、他者が吸い込むことで感染が広がっていきます。感染力は強く、インフルエンザの2～4倍と言われています。

かつては、主に子どもがかかる病気として一般的でしたが、幼児が定期予防接種の対象になって以降は大規模な流行が減ってきました。

しかし、昨年夏頃から関東地方を中心に風しん患者が急増しています。北海道でも今後流行する恐れがあり、注意が必要です。

●感染者は成人男性が多い

現在の風しん患者は、30～50歳代の男性が中心です。この年代の男性は予防接種を受ける機会がなかったか、機会があっても受けていない人もいるためです。

●『先天性風しん症候群』が問題

風しんで最も心配されるのが、妊婦への感染です。妊娠20週頃(妊娠6か月頃)までの女性が感染すると胎児も感染し、生まれてきた赤ちゃんに心臓病・白内障・難聴などの障がいが生じる恐れがあります。妊娠週数が早いほど、悪影響を受けられる可能性が高くなります。

妊娠中の女性の夫や同居家族、また職場の同僚などが風しんに感染し、妊娠中の女性にうつしてしまう恐れがあります。

- 清里町民が受けられる風しん対策事業
- ◎定期予防接種

満1歳児と、保育所・幼稚園年長児に計2回接種しています。

◎予防接種費用助成

①妊娠を予定・希望する女性、②妊娠中の女性の配偶者、を対象に風しん・風しん混合ワクチン接種費用を半額助成しています。

(自己負担額5千400円)

◎風しん抗体検査費用助成(北海道事業)

①妊娠を希望する出産経験のない女性、②風しん抗体価が低い女性の配偶者や同居人が対象となります。

風しん抗体保有率の低い世代の男性を対象に、抗体検査・予防接種を原則無料で受けられるような体制を検討中です。

【対象】

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日までの間に生まれた男性(39歳～56歳の男性)

詳細が決まり次第、町民の皆さんにお知らせします。

年齢別の風しんワクチン接種状況

男性	幼児期などに2回	幼児期に1回	中学生の時に1回	0回
				中学生の時に集団接種1回
女性				0回
年齢の目安	28歳 H2年 4月2日生	31歳 S62年 10月2日生	39歳 S54年 4月2日生	56歳 S37年 4月2日生

